

皆様、大変御無沙汰しておりますがお元気ですか。

まだ債務帳消しキャンペーンは活動しています。最近のニュースをお届けします。

貧しくさせられた国々の債務帳消しキャンペーンニュース

良い知らせ

長い間帳消しを拒否していた世界銀行（WB）と国際通貨基金（IMF）は 2006 年にやっと帳消しを始めた。結果は既にあがっている。ザンビアではヘルスケアは無料だ。ガーナでは農家のため道路が造られている。タンザニアでは干ばつの被害者 400 万人が食べられるようになった。ナイジェリアは教師を 15 万人雇う事にしてさらに 350 万人の子供が学校に行ける。近いうちに同じような事がベニン、ブルキナファソ、カメルーン、エチオピア、マダガスカル、マリ、モザンビーク、ニジェール、ルワンダ、セネガルとウガンダで起こるだろう。

10 月にノルウェーはエジプト、エクアドル、ペルー、ジャマイカとシエラレオネの債務を帳消しする事を決めた。これはノルウェーから船を買うために金を貸したが、実はこの多くの船は買った国の状況にふさわしくなく使えなかったのだ。つまり、貧しい国を助けるためでなくノルウェーの産業を助けるため金を貸した。この不当な債務の事実を認めたのだ。正直だ！

悪い知らせ

1996 年に（物質的に）豊かな国々（債権者）は 40 ヶ国の債務を帳消しする事を決めた。これは条件付き帳消しだ。29 ヶ国が帳消しを申し込んだ。20 ヶ国は条件をすべて果たして帳消しを受けている。9 ヶ国はまだ条件を果たしていなく帳消しの一部だけ受けている。11 ヶ国はまだ帳消しを申し込んでいない。（債務帳消しキャンペーンはその

他に後 14 ヶ国も帳消しが必要であるといっている。）

国によって帳消しを受けるための条件の数は違う。10 から 20 もある。条件は色々あるが民営化と貿易と金融の自由化が多い。貿易の自由化というと関税を切るかなくすという事だ。金融の自由化というと規制緩和だ。

民営化

日本では郵便局の民営化が決まった。田舎の小さい局は閉局され、多くの従業員が解雇される心配がある。帳消しを求める国々は銀行、水道、電気、などを民営化しなければならない。これを豊かな国の会社が買収する事がよくある。電気代、水道代などの値上げもよくある。

貿易の自由化は豊かな国々が企業製品を貧しい国々へ輸出しやすくなる。そして貧しい国々の製品は売れなくなって従業員が解雇されて失業者がさらに増え、失業者の連れ合いや娘が売春を始めエイズが広まっていく。。。金融の自由化も同じ効果がある。

このため貧しい国々の政府も国民もこの条件に反対するが、果たさなかったら帳消しを受けられない。貧しくさせる債務がもっと貧しくさせるというジレンマだ。

イギリスは条件に問題がある事を認めて WB が条件を改革するまで WB への醸出の 3% を保留する事に決めた。

具体的な例を挙げる。ザンビアは国営銀行を民営化しなければならなかった。国の支出を切らなければならなかった為必要と

していた 9,000 人の教師を雇えなかった。保健医療の担当者を雇う為カナダがザンビアに金を上げると言ったが、IMF はザンビアにこの金をもらって保健医療のため使ってはいけないと命じた。国の支出を上げることになるのだと！ニカラグアは水道局を民営化して水道代は 300%上がった。ブルンジはコーヒー生産を民営化しなければならないし、コーヒーと砂糖の関税をなくさなければならない。

ガンビアはまだ毎年 25 億円を債務返済している。帳消しの条件としてグラウンドナット（アメリカホドイモ？ピーナツ？）の生産、水道局、電気局、電子通信局と社会福祉局を民営化する事だ。1993 年にグラウンドナット国営社を民営化してスイスの会社に売った。1 万人がクビになり生産量が落ちてしまって輸出ができなくなっただけでなく輸入する事になった。ガンビアはグラウンドナットに頼るのだ。施設によって国の労働者の 4 分の 3 を雇う農業分野の大きな一部はグラウンドナット生産だ。失敗だった為また国営化した。

マラウイは最貧国の 1 ヶ国だ。平均寿命は 40 歳だ。7 人に一人はエイズウイルスを持っているが国中で医者 200 人も居ない。人口の 8 万 8 千人に医者が一人しか居ないということだ。イギリスでは 600 人に一人だ。健康保険の予算が足りなく医者を雇えないため多くの医者は海外へ出稼ぎに行っている。イギリスにも沢山行っている。医者が全然足りないため出産で多くの女性が死ぬ。その上干ばつによる食品不足だ。飢饉を防ぐため国は穀物を輸入した（買った）が IMF はこれ（国の支出を上げて）はいけないと言ってマラウイの帳消しを延ばした。こういうふうに WB と IMF（＝豊かな国々日本も含めて）が勝手に押し付けた条件は

貧しい人々を苦しめている。

詳しい情報は Jubilee Research

<http://www.jubileeresearch.org/>

Jubilee Debt Campaign <http://www.jubilee-debt-campaign.org.uk/>

日本のキャンペーンニュース

5 月にジャカルタで、「不当な債務の帳消しについての国際会議」が開催された。ここには、15 カ国から、約 150 人が参加した。日本の帳消しキャンペーンの代表者も参加した。以下は会議の声明の抜粋だ。

最近、この問題に燭光が見えてきた。というのは、アルゼンチン（75%）、イラク（80%）、ナイジェリア（60%）の債務が帳消しになり、これが、すべて独裁政権による債務であったのだ。

南の人びとは、過去数十年にわたり債務の返済に何兆ドルも奪われてきた。これは経済的低発展性と社会的後進性の最大の原因となっている。毎年、何十億ドルも世界で最も豊かな国ぐにの銀行や国家に返済しているにもかかわらず、債務は減らないどころか、より増えている。2004 年には 2.6 兆ドルに達した。南の政府の中には、国家予算の半分が債務返済に使われた例もある。これはアジア、アフリカ、ラテンアメリカの人びとを何代にもわたって苦しめてきた飢餓、貧困、惨めさの原因である。

債務の返済には、南の人びとの搾取、彼らの社会公共サービスへの権利を奪い、農業、林業、鉱物資源の略奪を伴う。債務はまたグローバリゼーションの破壊的な一方的な政策を押し付けるのに使われている。

詳しい情報は 北沢洋子

<http://www.parc-jp.org/main/>

[a_project/theme](http://www.parc-jp.org/main/a_project/theme)

債務と貧困を考えるジュビリー九州

<http://jubilee.nngo.jp/>